

平成27年度事業報告

<要 旨>

公益社団法人に移行して4年。平成26年12月、内閣府公益認定等委員会による初の立入検査を受けた結果、運動の組織形態及び事業推進に課題が生まれ、「新生」を目指す改革に取り組む年となった。主な改革としては、定款変更及び既存事業の見直し、諸規程の改定と整備など。また、事務局を移転し中央本部のスリム化を図った。

事業については青少年の豊かな心づくりを核として、事業計画に記載した「運動方針」と「重点活動」に則して実施。その活動概況を報告する。

1. 平成27年度の運動方針

日本の美風の「蘇生」と「新生」

鈴木代表は就任2年目を迎え、昨年に引き続き積極的に地域組織を訪問。講演会では、“日本の美風の「蘇生」と「新生」”と題した講演を行い、茅初代代表の信念を引き継ぐとともに未来に向け運動を推進しようと呼びかけた。

2. 平成27年度重点活動

1) 「小さな親切」実行章

鈴木代表と山谷えり子国家公安委員長との対談が実現。以前、運動本部が開催していた警察官を対象とした実行章贈呈式が話題となったことから、警察庁と協議を重ねた結果、平成28年度より警察官の善行を表彰するほか、警察官による地域住民の善行推薦を推進することになった。

2) 第40回「小さな親切」作文コンクール

昭和51年にスタートした作文コンクールは40回目を迎え、全県ぐるみで作文コンクールに長年にわたり取り組んでいる福井県本部に、第40回記念特別賞を贈呈した。

3. 公益社団法人としての体制強化

1) 内閣府公益認定等委員会からの指導箇所等を改善

<定款変更>

・会員制度の変更

定款第5条（会員の種類及び法人の構成）を変更。社員となる正会員と会費が税額控除を受けられる一般会員に区分し、一般会員に法人会員を加えた。なお、新会員制度は、システム変更を経て平成28年4月1日より施行する。

・公益目的事業の統一

定款第4条（事業）第2号から第4号を第1号にまとめて一本化し、「小さな親切」運動の各種事業は、「小さな親切」運動を通じて国民の心身の健全な発達と豊かな人間性を涵養し、特に児童又は青少年の育成を通じ、社会の健全な発展を目的とする事業として推進していくこととなった。

・収益事業の拡大

定款第4条（事業）第2号を変更。書籍販売に物品販売を加えた。

- ・その他

現状に合わせた文言の削除、訂正及び字句の統一を行った。

〈地方活動助成費の交付とその使途〉

- ・平成 28 年度の交付に向け、県本部に総会資料を基に地方活動助成費の使途を提出してもらった。

〈既存事業の見直し〉

- ・地域の輪・和・環プロジェクト「車椅子寄贈運動」

段階的に寄贈台数を減らし、平成 30 年度に事業の終了を決定。但し、地域組織が事業を継続するのは可。

- ・心の国際交流

世界親切運動の代表交代に伴う諸問題をうけ活動を自粛していたが、今後改善の見込みがないことから、公益目的事業を終了すべく内閣府公益認定等委員会に変更認定申請を提出した。

- ・日本列島クリーン大作戦

日本たばこ産業(株)からのごみ袋提供数の減少をうけ、地域組織に対策を検討するよう依頼した。

- ・エコキャップ収集運動

活動推進母体 2 団体のトラブルが社会問題となったことから、本来の目的である捨てればごみとなるペットボトルのキャップを回収することで、世界の子どもの命を守るワクチンを贈る運動の継続が難しいと判断し、公益目的事業を終了すべく内閣府公益認定等委員会に変更認定申請を提出した。

なお、地域組織が事業を継続するのは可。

2) 消費税 10%に向けての改革

第 1 弾：「小さな親切」実行章

- ① 実行章バッジの無料提供を取りやめ、希望者に購入してもらう。

実行章バッジ 155 円

- ② 個人用賞状「額」の作製を取りやめ、ネット等で購入してもらう。

第 2 弾：会員バッジの見直しと無料提供の取りやめについて検討する。

【事業活動】

■公益目的事業 1 [「小さな親切」運動を通じて国民の心身の健全な発達と豊かな人間性を涵養]

1. 「小さな親切」実行章贈呈事業

- 平成 27 年度の実行章贈呈者数（平成 28 年 3 月 25 日発表）は、75,359 名で、前年度比 5,039 名増加。これまでの実行章贈呈者数累計は 5,738,567 名となった。
- 鈴木代表と山谷国家公安委員長の対談は大きな反響を呼び、奈良県警本部などから「小さな親切」誌を購読したいとの要望が相次ぐ一方、地域組織からも県警本部へ実行章の推薦活動の協力要請が行われた。
- 財布を拾ってくれた長野の人に物ではなく心を贈りたいと、東京都八王子市議会議員から Facebook を通じて実行章の推薦が届き、長野県本部より伝達いただいた。また、同市議会議員の紹介で、病院と医師、看護師の推薦があり、病院にて実行章贈呈式を開催。マスコミで

も報道されるなど、東京での推薦活動が広がっている。

- 当該年度から実行章バッジの無償提供を廃止したが、贈呈式等で贈りたいとバッジ購入申し込みが1,970個寄せられた。
- ホームページからの実行章の推薦をしやすく改良した。

2. 第40回「小さな親切」作文コンクール

- 応募総数は50,506編（内訳：小学生13,458編、中学生37,048編）で、昨年比1,215編増となった。増加要因としては、①減少傾向にあった小学生の応募が2年連続で増加、②作文コンクール主催県の5県及びコンクール未開催の5県本部（三重、滋賀、京都、広島、宮崎）で増加、③千葉県内からの大幅増加、があげられる。
- 作文審査は、3段階で実施。第1次審査（審査員：13名）、第2次審査（審査員：5名）、第3次審査＝審査会（審査員：5名）。作文コンクールを主催する地域組織の選考を経た作品は、第2次審査からの審査とした。
- 学校内における応募作品の選考を従来よりお願いしていたが、当該年度は協力校が増え、第1次選考期間が短縮された。
- 外国人との接点（道案内）などをテーマにした作品が増え、東京オリンピックに向けて日本人の親切を意識するとともに、コミュニケーションには言葉でなく心が必要だと感じる小学生がいた。
- 11月28日の表彰式には、166名（入賞児童生徒55名・保護者111名）が出席。

〔要項〕	後援 協賛 テーマ 特別テーマ 応募資格 応募字数 締め切り 入賞者数	内閣府 文部科学省 NHK 毎日新聞社 カシオ計算機(株) (株)サクラクレパス 「小さな親切」－私のした・うけた・みた・できなかった親切－ 私の大切にしている「小さな親切」 小学生・中学生（小中学生と同じ学齢のものを含む） 400字詰原稿用紙3枚（1200字）以内 9月25日（金）必着 130名 内閣総理大臣賞1名・文部科学大臣賞1名・運動本部賞2名 特別優秀賞6名・優秀賞20名・入選100名
	副賞	カシオ計算機(株)：カメラ、電波時計各種 (株)サクラクレパス：文房具セット 運動本部：メダル
	審査	第1次審査：9月28日（月）～10月5日（月） 第2次審査：10月17日（土） 作文審査員審査会：10月30日（金）
	審査員	5名（内閣府 文部科学省 毎日新聞社ほか）
	要項・入賞発表	毎日新聞／ 5月21日（木） 11月20日（金） 教育新聞／ 6月25日（木） 12月8日（火）
	表彰式	11月28日（土） 全国表彰式席上
〔作製物〕	ポスター 6,000部	応募要項 9,000部

3. 青少年すこやか育成事業 <（公財）JKA補助事業>

<工作教室>

- 福島県大玉村教育長にご協力いただき、全国初となる土曜学級での開催となった。午前と午後の2回開催し、午後は2校の児童が一緒に取り組んだ。監修・講師に有賀忍氏（板絵画家）

を迎え、回転盤の仕組みを用いた六面相のおもちゃ作りに挑戦。牛乳パックという身近な「廃材」を使って、工夫次第で面白いことを想像する楽しさを感じてもらうことができた。

- 教職員からは、家にあるもので遊びを生み出すという発想が子どもたちに有益で、廃材を利用した工作は、家庭ですぐに取り組みると好評だった。
- サポートをお願いした福島県本部事務局も、子どもたちと触れ合いながらの作業を通して、この活動の有効性を強く感じてもらうことができた。

<紙芝居授業>

- 教育新聞に掲載された運動本部の紙芝居授業の広告を読んだ愛知県豊田市立青木小学校からの要請を受け、組織のない愛知で初めての紙芝居授業を実施。改めて全国的な道德教育への関心の高まりを感じた。
- 新作紙芝居「まつりのひ」の完成と同時に、道德授業用新プログラムを作成。前作「つなみのひ」の授業を受けた児童を対象に新作紙芝居授業を実施。児童らは1年前の授業を覚えていて、津波への恐怖心はあるものの、被害にあった村が復興したことを喜んでくれた。

<声優さんによる紙芝居>

- テレビでおなじみの声優さんが来ると楽しみにしていた子どもたちは、登場人物の声を演じわけた永澤菜教さんの紙芝居の世界にひきこまれた。
- 永澤さんには、「ぼくのゆめは、せいゆうさんに本を読んでもらうことでした。ゆめをかなえてもらってうれしいです」「やさしいところをもつことがだいじだと思いました」などお礼の手紙が寄せられた。

<オリジナル紙芝居の作製>

- 東日本大震災の被害を受けた岩手県宮古市、宮城県石巻市の現状を取材し、現在の風景や住民の方々の想いなどを取り入れた。
- 前作「つなみのひ」の舞台、世界観を引き継いでいるが、「まつりのひ」のみでも活用してもらえる内容とした。

1) 被災地域向け

■工作教室 in 福島県

講師 有賀 忍 (板絵画家・江戸川大学子どもコミュニケーション学科客員教授)
準講師 木村職員 五味職員 ※福島県本部事務局がサポート
日時・場所 平成28年1月23日(土) 大玉村立大山小学校・同玉井小学校
午前：大山公民館 参加者13名
午後：農村環境改善センター 参加者18名
テーマ 『君のオバケを作ろう！「回転円盤六面相」』
— 牛乳パック(廃材)を利用したおもちゃの制作 —

■声優さんによる紙芝居 in 宮城県石巻市

演者 永澤菜教 (声優 / 「ちびまる子ちゃん」ブー太郎役他)
上演作品 「きつねとごんろく」「おねぼうなじゃがいもさん」「やさしい ところ」
日時・場所 平成28年2月25日(木)
午前：石巻市立向陽小学校 3・4年生
午後：石巻市立飯野川小学校 1～3年生

2) 被災地域外向け：「つなみのひ」「まつりのひ」を用いた紙芝居授業の実施

講師 馬場喜久雄 (全国小学校道德教育研究会顧問)
宮島 盛隆 (済美教育センター指導教授・白百合女子大学講師)
実施校 3校
平成28年1月13日(水) 愛知県豊田市立青木小学校3年生
講師：宮島盛隆 準講師：五味職員

- 2月23日（火）千葉県御宿町立御宿小学校2・3・5年生
 講師：馬場喜久雄 準講師：五味職員
- 3月 8日（火）東京都江東区立第二辰巳小学校3年生
 講師：馬場喜久雄
 準講師：五味職員 木村職員

3) オリジナル紙芝居の作製

タイトル：「まつりのひ」 / 「つなみのひ」の続編
 作製数 : 500部
 作者 : 新野雄彦（童話作家・「小さな親切」運動本部特任推進委員）
 絵 : しもかわら ゆみ（イラストレーター）

4) 専用サイトを活用した教育活動

紙芝居授業や工作教室、声優さんによる紙芝居を紹介。見て楽しく、興味をもってもらえるよう工夫した。

4. みんなつながる、トモダチ作戦事業

- 当事業のグッズを活用してあいさつ運動を行っている学校を取材し、あいさつ運動の取り組みや効果を「事例集」にまとめた。あいさつが習慣化するというメリットだけでなく、地域の方々との交流のきっかけになったり、児童生徒のコミュニケーション力が総合的に向上することで、いじめや不登校の抑止・防止につながるという様々な効果があることが分かった。
- グッズについては、カラフルで楽しいデザインが、あいさつ運動のやる気につながると概ね好評だった。
- 当事業を通じて多くの学校と関係を築くことができたが、あいさつ運動以外の「小さな親切」運動を知らない学校が多く、今後は運動への理解を深めるとともに学校での親切運動をアピールする必要性を感じた。

【あいさつ推進グッズの配布】

・実施箇所数	学校 140校、2団体 / 17道県で展開	
・配布数	たすき	1,522本
	のぼり	738本（ポール、スタンド含む）
	ポスター	289枚×2種

【あいさつ実施事例集の作製】

- ・取材校 7校（①~⑦の学校は26年度に取材）
 - ①香川県・三豊市立上高瀬小学校
 - ②三重県・松阪市立安坂小学校
 - ③鹿児島県・鹿児島市立伊敷中学校
 - ④長野県・信州大学教育学部附属長野小学校
 - ⑤山形県・米沢市立第四中学校
 - ⑥千葉県・旭市立豊畑小学校
 - ⑦青森県・青森市立浪岡中学校
- ・作製数 4,000部（A4版 14頁）

5. ことばの魔法プロジェクト

1) 第31回「小さな親切」はがきキャンペーン

- 応募総数は2,005編で、昨年比100名増。学校での取り組みが増加した。6月には過去2年間の作品を収録した単行本「涙がとまらないすてきな物語」が河出書房新社より発行されたことから、地域組織や学校以外の一般からのはがき応募も若干増加した。
- 第二テーマに、“「やだな！」自分だったら…”を設定。自分が不快に思うことを、自分だったらどうするかと考えることで、見えてくる親切の形。視点を変えて、親切を考えるテーマを設けたことで、応募作品に若い世代の率直な思いが綴られた。
- 身近な人への感謝を伝えることも大切とうたい続けてきたこともあり、夫婦間、親子間といった家族へ向けた「ありがとう」の作品が多く見られた。
- 学校教育や職場研修に活用してもらえる内容の作品も多くみられるようになったことから、今後は資料として作品をまとめるほか、学校や企業での認知度を上げていくことが課題。
- 11月28日の表彰式には、25名（入賞者13名・家族12名）が出席。

〔要項〕	後援	日本郵便(株) 読売新聞社
	協賛	(株)河出書房新社
	テーマ	1) あなたへありがとう 2) 「やだな！」自分だったら…
	応募対象	子どもから大人まで
	応募方法	1) はがきで応募 2) メールで応募 / タイトル20字以内、本文600字以内
	締め切り	9月25日(金) 当日消印有効
	入賞者	24名 大賞 日本郵便賞1名・運動本部賞1名・読売新聞社賞1名 河出書房新社賞1名・審査員特別賞1名・入選19名
	副賞	日本郵便(株)：切手シート 読売新聞社：ぬいぐるみ、図書カード (株)河出書房新社：書籍 運動本部：ボールペン、ガラスペン
	審査会	10月19日(月)
	審査員	5名(日本郵便(株) 読売新聞社 (株)河出書房新社ほか)
	要項・入賞発表	読売新聞 / 7月24日(金) 11月14日(土)
	表彰式	11月28日(土) 全国表彰式席上

〔作製物〕 応募要項 7,000部

2) 一人暮らしのお年寄りへ「お便り便」

- 北九州市本部をはじめとした地域組織が地元団体と連携を図りながら取り組み、地元メディアに度々取り上げられた。一方で特定地域のみの活動となり、全国的に広がらない。

3) 記念日に大切な人へ Thanks Letter

- はがきキャンペーンの「あなたへありがとう」と重なり、Thanks Letterの取り組みはなされていないのが実情である。

6. 平成27年度「小さな親切」運動全国表彰式

- 当該年度は、全国表彰式初となる試みが二つなされた。一つ目は、実行章の贈呈を企画。警視庁の警察官に実行章を贈呈することになり、河野太郎国家公安委員会委員長が受章者のお

- 祝いに駆け付けた。二つ目は、(有) ケッケコーポレーションの全面協力のもと、作文コンクール入賞作品2作を台本におこし、所属の声優さんらによる声のドラマ、「耳と心で感じるリーディングドラマ」を実演。このドラマを動画で撮影し、道府県本部に配布した。
- 式典運営にも新たな挑戦を行った。参加者に運動紹介と表彰の手順などを映像化して見てもらうことで、運動への理解を深めるとともに式典のスムーズな運営に役立った。
 - 今年度も7地域組織の事務局長らの協力で、会場準備や案内、進行など計画通りに行うことができた。

[プログラム] 後援 内閣府 文部科学省 NHK
 と き 平成27年11月28日(土) 12:30~15:00
 ところ 東京・霞が関ビル35階 東海大学校友会館
 出席者 約270名
 プログラム 司会 石井麻由子 (NHKアナウンサー)
 主催者あいさつ 代表 鈴木恒夫
 来賓あいさつ 国家公安委員会委員長 河野太郎
 内閣府大臣官房総務課管理室室長 相川哲也
 表彰 内閣官房長官賞 5名
 池見 厚一 北海道函館支部理事
 枝 賢一郎 栃木県本部監事・宇都宮支部元事務局長
 田子 育良 福島県・運動本部特任推進委員
 豊田 哲治 大分県杵築市支部事務局長
 井本 浩之 福岡県行橋支部代表
 「小さな親切」運動大賞 「小さな親切」運動山口県本部
 「小さな親切」運動特別功労賞
 小林辰興 栃木県本部・宇都宮支部前代表
 「小さな親切」運動賞 3団体・2個人
 「小さな親切」運動長野支部 長野県
 小野田産業研究会 (OSK会) 静岡県
 「小さな親切」運動さぬき市長尾支部 香川県
 清野 一江 埼玉県与野支部前事務局長
 井手恵美子 福井県敦賀支部代表
 第31回はがきキャンペーン
 第40回作文コンクール
 入賞作品朗読
 はがきキャンペーン 大賞 日本郵便賞
 作文コンクール 文部科学大臣賞
 耳と心で感じるリーディングドラマ
 (有) ケッケコーポレーションの声優さん
 閉会あいさつ 副代表 堀江正浩

7. 「小さな親切」誌の刊行 <(一財)日本宝くじ協会助成事業>

- 情報誌として、より多くの人に読んでもらうための新企画を三つ立ち上げた。一つ目は、男女問わず興味を持つ食べ物。表紙に取材等の訪問先で食した料理の写真を掲載したところ、故郷の料理が載っているので地域に配布したいとの申し出があるなど読者層が拡大した。二つ目は、鈴木代表の考えや思いを知ってもらうための「恒さんが行く」コーナーを新設。三つ目は、日本を訪れる外国人の急増や2020年の東京オリンピックを受けて、外国人からみた日本の文化や、精神などを紹介する「東京ほっとスポット」コーナーをシリーズ化した。
- 昨年に引き続き、ホームページやFacebookとの連動が不十分であったことから、ホームページの内容を刷新するとともに情報誌との情報の区分けを図ることになった。
- 秋号で500号を迎えたことから、鈴木代表と山谷国家公安委員会長の対談を企画。警察庁との

関係強化につながった。

〔季刊発行〕 年4回（春号5月・夏号8月・秋号10月・新春号1月）

〔発行部数〕 年間延べ140,000部

〔主な取材先〕

- ◇春号 5月：ロイヤルハウジンググループ（東京）、山形屋・鹿児島市立伊敷中学校（鹿児島）、浅草寺・明治神宮（東京）
- ◇夏号 8月：榊河出書房新社（東京）、三豊市高瀬町・琴平町（香川）、今野忠成（騎手）、秋葉原ラオックス（東京）
- ◇秋号 10月：警察庁（東京）、中部電力㈱三重支店・百五銀行（三重）、羽田空港国際線旅客ターミナル（東京）
- ◇新春号 1月：岩手県宮古市、宮城県石巻市

8. その他

1) 各地域の親切運動支援

- 全国各地で地域に根差した運動を展開している地域組織に、公益目的事業推進のための活動費を6月に交付。交付額は、平成26年度会費収入の12%で、総額は9,284,000円。
- 年1回、次年度の運動方針や重点活動、各事業の展開方法などについて話し合う全国地方本部事務局長会議を開催。特に当該年度は、会員種別の変更や公益目的事業の変更認定申請等動きがあったことから、公益社団法人の役割、使命についても充実した話し合いを行った。

〔地方本部事務局長会議〕

と き 平成28年2月19日（金）13:00～17:00

と ころ 東京・ベルサール飯田橋駅前 2階会議室

出席者 29道府県本部事務局長・事務局次長・事務局担当者30名
運動本部理事・事務局員・特任推進委員11名

- 鈴木恒夫代表の就任2年目にあたり、昨年度に引き続き各地の総会等に合わせて表敬訪問を行うほか、地域組織の周年記念事業では講演を行った。

〔依頼件数〕 1) 講演 7回 2) 総会・つどい等 18回

2) 各種パンフレット、ポスター等の作製

- 地域組織へのアンケートを基に必要数を印刷し、余分な在庫を残さないようにした。
- 「小さな親切」運動への関心を高めるべく、表現・編集等を工夫した。

1) 基本資料

基本パンフレット 4,000部

三つ折りパンフレット 10,000部

実行章パンフレット 5,000部

2) 作品集 4,500部

タイトル 『それ行け！しんせつさん』（作文コンクール・はがきキャンペーン合併）

発 行 平成28年2月17日発行

3) グッズ

蛍光ペン 4,000本

クリアファイル 50,000部

4) 実行章バッジほか

■公益目的事業 2 [高齢者及び障害者の福祉の増進を目的とする事業]

1. 地域の輪・和・環プロジェクト (車椅子寄贈運動)

- 体験型学習が増え、小学校などへの寄贈が目立ってきた。また、楽器演奏などの慰問活動と連動して施設へ寄贈する地域も見られた。
〔車椅子寄贈台数〕 100台 100箇所
- 当該事業は段階的に寄贈台数を削減し、平成30年をもって事業を終了することを決定したことから、車椅子につけるプレート代は各地域組織の自己資金での購入とし中央本部で発注数を取りまとめた。自己資金での車椅子購入についても同様に行った。
- 車椅子の原材料の高騰により予算時の見積金額よりも価格が高騰したことから、差額については中央本部で負担した。今後も車椅子の価格が値上がりすることが予想される。

■公益目的事業 3 [地球環境の保全又は自然環境の保護及び整備を目的とする事業]

1. 日本列島クリーン大作戦 (33回目)

- 参加者総数は約330,000名。青森県本部の春のクリーン大作戦を皮切りに、全国各地で会員の有無を問わず実施された。「年々ごみの量が減っている」等の報告が寄せられるとともに、幼児から学生、その上の世代と幅広い世代の方々が参加し、世代間交流の場となっていることもうかがえた。始めた参加した企業からは、「街がきれいになっていくことがこんなに気持ちがいいと気づけた。今後もぜひ続けていきたい」という声が聞かれた。

〔要 項〕

後 援 内閣府、文部科学省、農林水産省、国土交通省、経済産業省、総務省、環境省、警察庁

協 賛 日本たばこ産業株式会社、スチール缶リサイクル協会、コカ・コーラ協会、日本石鹼洗剤工業会、(公社)食品容器環境美化協会、(公財)日本環境協会

スローガン 美しい日本、美しい心

作製物 ポスター 1,700部

ごみ袋 210,350部 <協力：日本たばこ産業株式会社 (JT) >
内訳：300袋 80,300部・120手提げ袋 130,050部

- 当事業に欠かせないごみ袋は昨年比約40,000部減となったが、各地域組織では工夫して少ないごみ袋でも活動を進めることができた。
- 地域組織ではごみ袋の提供企業・JTをチラシに載せたり、当日会場で参加者に告知するなどJTの協力をピーアール。日本列島クリーン大作戦とJTの目指す美しい環境づくりに向け、今後も協力関係を持続したい。

2. エコキャップ収集運動 (7年目)

- 中央本部ではこれまで、各地域組織にエコキャップの収集を推奨し、(株)ニヤクコーポレーションの協賛を得て、収集したエコキャップをリサイクル工場へ送る送料を一部負担し、「NPO法人エコキャップ推進協会」(以下、エコ推)の活動を応援してきた。当該年度も前年度の送料を、協賛企業(株)ニヤクコーポレーションの協賛金40万円を受け負担した。しかし、エコキャップ売却益の用途を巡って、エコ推とワクチン支援団体「認定NPO法人世界の子どもに

ワクチンを「日本委員会」（以下、JCV）の間に問題が発生、それをうけ、エコキャップ収集運動を公益目的事業から一般事業への変更を理事会で決定。内閣府公益認定等委員会へ変更認定申請を提出した。

<問 題>

- 平成 26 年 12 月頃、『NPO 法人エコキャップ推進協会』（以下、エコ推）と『認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会』（以下、JCV）の間に問題が発覚。学校や企業等で収集したエコキャップの売却益をエコ推が集約し、ポリオワクチン等の購入費として JCV に寄附をするという仕組みが出来ていたが、実際は平成 26 年度に寄附をしていなかった。さらに、寄附をしていないにも関わらず、ワクチン〇〇人分と記載した受領書を参加者に渡していた。
- 平成 27 年 4 月 10 日（金）、新聞やテレビでエコ推と JCV 間のトラブルが報じられると、地域組織（道府県本部、市町村支部）はもとより「日本列島クリーン大作戦」の後援をお願いしている経済産業省からの問い合わせが相次いだ。

<理事会で方針を決定>

- 平成 26 年 12 月の情報を受け、第 20 回理事会（平成 27 年 2 月 4 日）で「一連の問題に決着がつかずまではエコキャップ収集運動の推進を停止。送料の支援も行わない」ことを決定。なお、地域組織の自主的な活動としては、自主判断のもと継続を可とした。
- 平成 27 年度全国地方組織事務局長会議（平成 27 年 2 月 20 日）にて、上記の理事会の方針を報告したところ様々な意見が出され、ある程度明確な方針を打ち出すべく、第 21 回理事会（平成 27 年 3 月 9 日）で改めて対応を協議。「平成 27 年度は、エコ推が推奨するこれまでのルートで活動を行う＝事業の停止はしないが、積極的な推進は控える＝送料支援は行わない」ことを決定。平成 28 年度以降については、平成 27 年度中に調査し、方針を決めていくことになった。
- その後、平成 27 年 4 月に各種メディアで問題が報じられたため、再度、活動について早急に検討する必要性が生じ、第 22 回理事会（平成 27 年 5 月 21 日）に公益目的事業から一般事業へ移行することを決定。内閣府公益認定等委員に変更認定申請の手続きを行った。

3. 日本列島コスモス作戦（27 回目）

- 当事業は、種苗会社と購入組織、団体等の仲介という形で活動を支援しているもので、当該年度は種子袋 134,420 袋・種子 84.8ℓを斡旋。種子袋や種子は、購入組織、団体を通じて地域の学校等に寄贈され栽培されるほか、親切運動のキャンペーンで配布されるなどピーアールに活用された。

<問 題>

- 「コスモス種子袋の種の量が少ない」との問い合わせがあったことから、(株)サカタのタネに調査を依頼。その結果、種詰不足が種子袋（名入れ印刷あり・名入れ印刷なし）2 種類ともにあることが判明した。
種詰不足の対応について協議した結果、平成 28 年度は 34,000 袋の種子袋をサカタのタネより無料提供いただくことに決定した。
- コスモス種子は広く学校等に寄贈されていることから、サカタのタネに対してはこの問題を受け、検品等品質管理の徹底など、再発防止のための対策を講じていただきたい旨、申し入れた。

4. 使用済み切手・プリペイドカード・未使用はがき寄贈

- 従来、運動本部で取りまとめて海外支援団体に送付していたが、当該年度より直接海外支援団体に送付してもらうことに変更した。なお、地域組織以外のものは中央本部で取りまと

めた。

<寄贈先 3 団体> (公財) ジョイセフ …使用済み切手
 (公社) 日本キリスト教医療協会の …使用済み切手
 (公財) 緑の地球防衛協会 …使用済みプリペイドカード

- 協力者氏名をホームページに掲載。徐々に協力者が増加している。
 協力者 地域組織 12 件・企業 65 社・団体 13 件・学校 2 校・個人 15 名・匿名 12 件

地域組織（県本部・支部）					
山形県	酒田の会	山形県	高島の会	山形県	鶴岡の会
宮城県	宮城県本部	京都府	京都府本部	奈良県	奈良県本部
島根県	山陰本部	広島県	府中支部	山口県	宇部支部
福岡県	北九州市本部	大分県	大分県本部	大分県	杵築市支部
企 業					
北海道	鐘ヶ江建設株式会社	北海道	北見市社会福祉協議会	北海道	北見信用金庫株式会社
北海道	北見石油販売株式会社	北海道	三九建設建設株式会社	北海道	北海道ガス株式会社 北見支店
福島県	福島架設機工株式会社	宮城県	遠藤海事事務所	山形県	三和工業株式会社
山形県	鶴岡建設株式会社	埼玉県	ミドリ安全株式会社 埼玉支社	千葉県	新日本メンテナンス株式会社
千葉県	有限会社山十商店	東京都	株式会社大矢建工	静岡県	株式会社富士セラミックス
岐阜県	株式会社松永製作所	大阪府	医療法人仙養会 北摂総合病院	大阪府	安藤忠雄建築研究所
兵庫県	佐藤健宗法律事務所	岡山県	有限会社岡建	岡山県	タチバナ工業株式会社 中国支店
島根県	アクト株式会社	島根県	出雲木工株式会社	島根県	株式会社アルコン
島根県	株式会社イズコン	島根県	株式会社石見銀山生活文化研究所	島根県	株式会社後藤建設
島根県	株式会社住創 リフォーム専門店パセリ	島根県	株式会社ジュンテンドー	島根県	株式会社都間土建
島根県	株式会社中筋組	島根県	株式会社一畑トラベルサービス	島根県	株式会社三原電工
島根県	株式会社明和	島根県	合資会社第式商会	島根県	山陰クボタ水道用材株式会社
島根県	大昌株式会社	島根県	中村ブレイス株式会社	島根県	一畑バス株式会社
島根県	碧雲慣行株式会社	島根県	有限会社坪倉工業	島根県	渡部印刷株式会社
島根県	JR 西日本山陰開発株式会社	鳥取県	株式会社フィディア	鳥取県	山陰信販株式会社
鳥取県	ジェイアール西日本商事株式会社 米子支店	鳥取県	宝製菓株式会社	鳥取県	東海漁業株式会社
鳥取県	美保テクノス株式会社	鳥取県	有限会社原明建設	鳥取県	株式会社コクヨ MVP
山口県	北九州銀行	香川県	株式会社百十四銀行	鹿児島県	鹿児島県司法書士会鹿児島支部
鹿児島県	鹿児島県社会福祉会	鹿児島県	鹿児島市精神保健ダイケア	鹿児島県	株式会社サツマ酵素工業
鹿児島県	株式会社天文館 どっとこむ	鹿児島県	株式会社朋友	鹿児島県	株式会社ラグーナ出版
鹿児島県	県歴史資料センター黎明館 学芸課	鹿児島県	損保ジャパン日本興和鹿児島支店	鹿児島県	ハローワーク鹿児島
鹿児島県	アルテンハイム加世田	鹿児島県	鹿児島県介護士会		
団 体					
秋田県	リブネット 十和田図書館	長野県	ささらの里	奈良県	奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合
大阪府	北摂総合病院	島根県	医療法人つわぶき	島根県	島根県環境生活部 自然環境課
島根県	医療法人社団入江内科医院	島根県	社会福祉法人創分会	島根県	エーネット共同組合
島根県	駅前コミュニティ	島根県	ごうぎん「小さな親切」の会	山口県	宇部市社会福祉協議会
山口県	やまぎん「小さな親切」の会				
学 校					
島根県	松江市立津田小学校	香川県	綾川町立昭和小学校		
個 人					

北海道 2 名・岩手県 1 名・秋田県 1 名・山形県 1 名・埼玉県 1 名・千葉県 4 名・福井県 1 名・三重県 1 名・奈良県 1 名・大分県 1 名・鹿児島県 1 名

■公益目的事業 4 [国際相互理解と友好の促進事業]

1. 心の国際交流

- 心の国際交流は、長年代表と事務局を担当し世界親切運動の中核であったシンガポールから、代表と事務局がオーストラリアへ移行した際、投票方法等を巡り疑義が生じたことから世界親切運動発足時のメンバー2カ国（シンガポール、イギリス）が脱退した。日本としては静観の立場をとり動向を見守ってきたが、公益目的事業として今後の展開が望めないと判断。公益目的事業を終了すべく、公益認定等委員会に変更認定申請を提出した。

【収益事業】

1. はがきキャンペーン作品の書籍化

- 3年ぶりに単行本が発行され、印税収入を得ることができた。
タイトル：「涙がとまらないすてきな物語」
発行：河出書房新社（平成27年6月25日）
発行部数：6,500部
印税：673,920円
- 定款変更を行い、収益事業を書籍の販売だけでなく事業に必要な物品も販売できるようにしたことから、収益につながる物品を調査し販売につなげたい。なお、内閣府公益認定等委員会に変更認定申請を提出中。

【その他事業】

1. 総会・役員会

- 平成27年6月18日（木）、第5回社員総会を東京・ベルサール飯田橋駅前2階会議室にて開催した。
- 理事会は5回開催。第22回理事会／5月21日（木）、第23回理事会／6月18日（木）、第24回理事会／9月24日（木）、第25回理事会／平成28年2月12日（金）、第26回理事会／3月24日（木）。なお、第25回理事会は平成27年12月18日（金）に開催予定だったが、理事の出席が過半数に満たず不成立となった。
- 理事会内に「諸規程・規則改定委員会」を設置し、公益社団法人の現状に即した規程・規則の改定及び新規作成作業を進めた。委員は4名（鈴木代表、山橋専務理事、杉理事、濱田監事）。委員会は3回開催。第1回委員会／6月12日（金）、第2回委員会／9月3日（木）、第3回委員会／12月18日（金）。
新規作成：慶弔見舞金規程、会員等の慶弔見舞に関する規程、育児休業及び育児短時間勤務制度等に関する規程、介護休業及び介護短時間勤務制度等に関する規程、裁判員・検察審査員特別休暇規程
改定：給与規程、旅費規程、役員の報酬等及び費用に関する規程、会員規程、会計処理規程、退職金規程、社員総会規程、就業規則、事務処理規則

2. 「小さな親切」運動本部特任推進委員の委嘱

- 特任推進委員とは熱心に地域で親切運動を推進している会員に委嘱しているもので、今年度新たに1名を加え、特任推委員の総数は18名となった。

新特任推進委員 岡内利文 / 香川県本部理事・元小学校長

〈特任推進委員18名〉 (敬称略)

土舘一二三 (秋田県)・安野 正 (山形県)・田子育良 (福島県)・片亀歳晴 (群馬県)
新野雄彦 (埼玉県)・長谷川清一 (東京都)・馬場喜久雄 (東京都)・山本勝代 (東京都)
見野潤一郎 (静岡県)・中村尚夫 (静岡県)・土屋卓也 (静岡県)・北出正之 (三重県)
阪口繁昭 (和歌山県)・江村良治 (広島県)・森若祐子 (広島県)・岡内利文 (香川県)
廣松富夫 (福岡県)・義間久高 (鹿児島県)

【広報活動】

1. WEB サイトによる情報発信

- Facebook でリアルタイム情報を発信するとともに、活動報告だけではなく、読み手に楽しんでもらえる工夫を凝らした記事を掲載したとこで、運動関係者以外の閲覧数が増加した。
- 地域組織(道府県本部、市町村支部)の会合等に出席した地方議員の方々Facebookを見て、さらにそれを周囲に広げてくれるという動きがあり、閲覧者が増えるきっかけとなった。
- 「小さな親切」実行章受章者の情報などを積極的に発信した結果、その関係者が閲覧してくれるだけでなく、受章者が在住する自治体・広報から問い合わせを受けた。そうした流れの中で、八王子市議会議員(東京都)からの実行章推薦がFacebookを通じて寄せられた。
- YouTube ではニュース形式の情報発信だけでなく、全国表彰式のアトラクション(作文コンクール入賞作品を声優がドラマとして上演)の様子を公開。運動に関心のある方だけでなく、作文入賞者や関係者、声優のファンなど幅広い層に見てもらい、活動の一端を知ってもらうことができた。
- また、YouTube 動画自体、手軽に見ることができ、活動内容が分かりやすいとの声をいただいた。
- 今後はFacebook やYouTube、情報誌「小さな親切」と連動することでより動きのあるホームページにしていく必要があり、そのための人員確保、運営体制を整えることが求められる。また、地域組織から積極的に活動報告をもらい、全国各地の話題をより多く発信していくことで、さらなる閲覧者層を拡大したい。

2. メディアへの情報提供

- 地方で行うイベント(青少年すこやか育成事業など)や実践活動(クリーン大作戦など)については、地域組織の協力により、地方紙やローカルテレビに告知してもらうことで、各媒体での掲載が多かった。
- 例年通りの活動で動きのある事業が少なかったことから、中央からの情報発信を行うことが難しかった。今後は運動そのものに理解を得るため、ニュースレターを定期的に発行し、地方メディアを中心に地域組織の広報活動のバックアップをしていきたい。
- 福井県本部事務局である福井放送が制作した「小さな親切」運動啓発CM(テレビ・ラジオ)は、長期間にわたって放送されている。これは、県下の支部の活動の一助にと県本部が自主制作したもので、作文コンクール入賞作品を題材にしたCMは「小さな親切」運動の目指す豊かな心を伝え、好評を博している。

【寄 附】

寄附者： 21 名
金 額： 434,985 円
寄附の対象は、概ね青少年事業、親切運動全般。

【義 援 金】

義援金名称：平成 27 年台風 18 号などによる大雨災害義援金
受付期間：平成 27 年 9 月 15 日（火）～11 月 30 日（月）
贈呈先：茨城県常総市
義援金総額：178,878 円

その他運動概況

会員の概況

会員区分	平成 2 8 年 3 月 3 1 日現在		平成 2 7 年 3 月 3 1 日現在		昨年度比	
正会員	137 名		139 名		-2 名	
法人会員	55 社		61 社		-6 社	
個人会員	9,013 名		9,720 名		-707 名	
団体会員	124,359 名		121,894 名		2,465 名	
学校会員	100 校	59,766 名	102 校	60,221 名	-2 校	-455 名
総会員数	193,330 名		192,035 名		1,295 名	

新会員種別による内訳

個人正会員 1 1 4 名 個人寄附会員 2 3 名
法人正会員 3 4 社 法人寄附会員 2 1 社

地域組織 3 3 道府県本部 1 4 1 市町村支部